

質問事項		記述式回答
<p>経済再生と両立する財政健全化</p>		
1	<p>以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。</p> <p>①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革</p> <p>②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」</p>	<p>公的施設運営のPPP/PFIの活用は、今後公的分野について民間資金の活用を図り、民間の創意工夫を取り入れるうえで重要な役割を果たすと考えられる。ただし、その際に、単純に現在の公的施設の運営を民間に任せるというやり方だけでは、民間のアイデアが生かせる範囲も限られるし、そこから得られる財政負担の軽減レベルも小さい。公的施設を今までと異なった発想での運用を認めることが必要である。さらには公的施設を含むより大きなエリアを考え、公的施設と民間施設との新しい組み合わせを考えていくことが必要と考えられる。たとえば、市庁舎等の施設もその運営だけではどんな民間が行っても限界があるが、それをたとえばショッピングモール等の商業施設の一部として運営する、あるいは医療施設と組み合わせた運営をする等ができるようにすれば、より民間の創意工夫の範囲が拡大し、公的部門の産業化が可能になる。</p> <p>ただし、そのためには、PFI法をより使い勝手の良いものにしていく必要があり、より詳細レベルでグレーゾーンをなくしていく必要がある。また、多くの地方自治体には、このような民間資金を活用するインセンティブと知識に乏しい。民間資金活用が地方自治体にとって大きなメリットになるような仕組みづくりが必要と思われる。</p>
2	<p>2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	<p>財政健全化目標を堅持するうえでは、大胆な社会保障改革がまず急務であろう。政府支出の中に占める社会保障関連の支出は高く、その割合は高齢化に伴って今後も上昇していく。経済成長戦略によって成長率を高め税収を高めていくことは当然必要であるが、それと同時に社会保障支出に関しての改革を行っていく必要があるだろう。</p> <p>しかしながら、単に財政再建のためというだけでは、大幅な社会保障支出の削減は大きな痛みを伴うために、実際問題としては難しい。単に支出を削減するだけではなく、その結果として社会保障の質を引き上げるような改革を行っていく必要がある。社会保障分野は、成長産業でもある。質の向上が可能になるようなイノベーションを促進するための大胆な規制改革を同時に行っていく必要がある。そして、その結果経済成長にも寄与するような改革を行っていくべきである。</p>